

在関西領事団 京都ツアー

平成 30 年 5 月
外務省大阪分室

1 開催概要

平成 30 年 5 月 30 日、外務省大阪分室は、石川関西担当大使主催行事として、在関西の各国総領事及び総領事館館員を対象に、各国要人の接遇に利用することが多い京都迎賓館及び仙洞御所を視察し、また精進料理や呈茶体験、禅についての講話などを通じて日本の伝統文化について理解を深めてもらうことを目的に妙心寺退蔵院(寺社)を訪問するツアーを実施しました。

ツアーには 11 カ国計 16 名(中国、オーストラリア、フィリピン、タイ、アメリカ、オランダ、ベトナム、イタリア、韓国、インドネシア、ドイツ)の総領事夫妻及び館員が参加しました。

2 訪問先

京都迎賓館、仙洞御所、妙心寺退蔵院

3 視察先概要

- (1)最初の視察先である京都迎賓館では、参加者は日本の伝統技能の技を活用した建築様式や調度品、また実際に接遇を行う場合を想定した各部屋の利用方法などの説明を熱心に聞いたり多数質問するなど、視察は予定の時間を超過して行われ、日本の伝統文化や、要人接遇の際の京都迎賓館の利用に対する関心の高さが見受けられました。



- (2)次に訪れた仙洞御所では、京都の歴史的背景、御所の成り立ちや概要などについて説明があり、実際に賓客が視察する動線で庭園を鑑賞しました。



- (3)妙心寺退蔵院では、副住職から禅と精進料理について解説を受けながら全員で実際に精進料理をいただきました。その後お寺の概要や歴史と共に、禅とはなに

か、禅と日本文化との関わり、食を通した禅の考え方などについて動画視聴などを交えて詳しく説明があり、参加者は非常に熱心に耳を傾けていました。

また英語が堪能でかつ禅仏教以外にも様々な経歴のある副住職と参加者との間で仏教から日常生活に至るまで多岐にわたる質疑応答が行われ、有意義な文化交流の場となりました。



(了)